

発行所  
千葉県商工会連合会 内  
千葉県商工会婦人部連合会  
〒260 千葉市千葉港 4-2  
電 0472 (42) 3361

# 第 10 号

平成 3 年 3 月



## 「商工会婦人部海外研修」

期日 平成 2 年 11 月 18 日 ~ 22 日 訪問国 シンガポール

県下 23 商工会婦人部から 88 名という多数の参加者を得て 実施され、シンガポール 市内等の商業施設等を視察した。

# 芝山町商工会婦人部

石田 貞子

予定より1時間余り遅れて日本を離れ約6時間でチャング空港に着き、真夜中故すぐにバスでホテルへ向った。

何時間も睡らずに2日目の市内観光となり国立博物館・ラン園などを見学したが、一年中温暖で適度の雨量があるため、樹々は青々と、花は咲きほこり、街はとてもきれいで、またどこを見ても自動販売機はなく品物は全て手渡しでスキんシップを大事にする国であると感じました。

また、当日の夜、婦人部活動のあり方をテーマとした意見交換会が行われ、他の参加者と会話を交えながら食事をとったが、同席したグループ同志の話合いという感じになっってしまったので、もう少し積極的になれば良かったと反省しております。

今回の研修の最大目的である3日目の「シンガポールをどう」での研修では、日本からの企業の進出や所得水準の向上で消費者に高級化志向が強まりつつあり、消費者ニーズにあわせた店づくりが必要であるというような現地の商

業事情を中野店長から詳しく説明を受けるとともに、説明終了後、現地日本人スタッフの案内により店内を視察し、衣料品などのデザイン縫製等を見たが、日本の製品と比べると見劣りし、あらためて日本の技術水準の高さを認識させられました。

湾内クルージングによる船上パーティー、マレーシアへの観光、オプショナルツアーへの参加と、また自由行動の際には、好奇心から地下鉄に乗車するなど楽しく5日間を過ぎた。大いに学び、そして見聞が広められた有意義な海外研修となり参加して良かったと思うこの頃です。

**商工貯蓄共済制度**  
(小さく掛けて大きく活かす)



マーライオン公園での記念撮影  
(石田さんは写真左から2番目)



ラン園での記念撮影  
(鶴谷さんは写真右)

# 鴨川商工会婦人部

鶴谷 洋子

「シンガポール」緑の樹木にフルーツ、マーライオン清潔な街並、沢山の人が共存共栄している東洋の国と単に機上の一人になりました。ホテルも素晴らしく清潔でほっと一安心。夜中に着いたのバスに乗っていても、中国人で、お風呂に入っただけで覚まし窓から外の景色を見たところ、その素晴らしい口では言い表わせない程感激しました。まるできれいな絵本を見ている様でした。今回の旅行の機会を与えてくださった商工会婦人部と何んの心配も無く時間をくれた家族に心から感謝しています。

研修では、そごうデパートのシンガポール店長からお話を伺い、最近では日本企業の進出もめざましく人手不足はこの国でも共通である事、又この国は多国籍人を働き手とするために、習慣の違いや考え方の違いがあり、例えば日本では永年勤続を誇りに思われるが、シンガポールでは引き抜きをされる事が自分次第で永くある事だとの考え方で永く勤まらなく仕事を覚えさせる

苦労があるとのことでした。また、気候が一年中夏または春なので日本の様に四季折りの折り紙のバーゲンセールで売り上げをのばすことも出来ないとのことでした。

バスに乗っていても、中国人街、マレーシア人街、インド人街と人種によって街の様子が一変し、潤い方にも差が感じられました。

公園にはランの花が咲き乱れどの木もびびと育ち南国ムードで満ちあふれており、道路にはゴミや空缶等がなく捨てる場所を見つかるという法律で罰せられるという話でした。

今、世界は激しい動きをしています。湾岸戦争での様子でアメリカ軍として出兵する母親と小学生の息子の別れがテレビに写し出された時など涙なしでは見ることができませんでした。ソ連においてはバルト三国に対する弾圧が起り、まるで火山がマグマをたぎらしているようで恐ろしくなります。世界中が平和で、どここの国でも自由に往来が出来るように祈るばかりです。

九十九里浜の南端に位置し、延長7kmの白砂青松の海岸で太平洋に接する白子町は、米作に野菜のハウス栽培を主産業とする気候温暖な農村地帯ですが、近年は東京方面からの転入者も多く、古くて新しい街です。

この温暖な地にテニス民宿が誕生して15年が経過し、今やコート数450面をもちテニス村としては山中湖や軽井沢と並んで日本中にその名を知られるまでになりました。

昭和63年には温泉も湧出すなどスポーツと健康の町づくりを目指しているところですよ。

そのような中で、昭和62年に35名の商工婦人をもって結成された我が婦人部は現在では部員数が68名になるまでになりました。又、我が婦人部では、部員に対して婦人部で何をしたいか、会合等に外出しやすい時間帯は、又部活動に参加できる回数、というようなアンケート調査を行いその調査結果をふまえて事業を実施するようにしており、特に研修・地域振興・サークル活動等に重点を置いております。

### わが街の婦人部

白子町商工会婦人部

研修活動としては、注目を集めているショッピングセンターの視察や接客応対等の実技講習会を開催するとともに、サークル活動としては、ヨガ社交ダンス・テニス・料理教室などを行っております。又、地域振興活動としては、夏の間開きや秋の青年部主催の青空市といったイベントに参加協力するのが恒例となっております。

最近では、海岸の清掃や献血、募金といった奉仕活動にも力を入れているとともに、婦人部員を対象とした県連主催の事業には必ず参加するようにしております。

以上、白子町や我が婦人部を紹介してまいりましたが、部員の多くがそれぞれ、事業の最前線で活躍しており、事業と婦人部活動を両立させる難しさはありますが、今後も地域商工業振興と地域社会発展のためにより一層積極的に婦人部活動を展開し、地域になくてはならないような婦人部になるようにと思っております。



八千代市商工会婦人部の集い



恒例「白子海岸海開き」でもちつきイベントを主催する婦人部

八千代市は東京都と千葉市の間内陸部に位置し、都心から約30km、千葉市中心部から約12kmの距離にあります。人口は14万8千人で、東京のベットタウンとして比較的順調な発展を遂げてまいりましたが、東葉高速鉄道の開通が予定され、更なる発展が期待されています。

そのような中で、我が婦人部は地域発展の為、どのような活動を展開したらいいのか模索の連続であります。

部員同士、顔を合わせるというも話題になるのが「八千代には名物というものが無い」ということであり、婦人部の手で地域おこしは出来ないものかということですよ。

このようなことから、とにかく何かを考えて見ようということになり今年度、新たに「地域おこし研究会」を発足させました。又、例年行っている事業としては、他婦人部との交流・公共施設への植栽・献血運動・老人ホームへの慰問・八千代ふるさと親子まつりへの参加更には勉強会・講演会等々と毎月1回から2回の事業は必

### わが街の婦人部

八千代市商工会婦人部

ず実施するようにしております。又、昨年度から実施している事業にファミリー参加型の事業があり、この事業は婦人部活動が出来るのも家族の協力があってこそと計画されたもので、博覧会の見学やボーリング大会の開催など、いづれも好評を得ております。

これからも八千代市商工会婦人部は、地域の為に、更には自分自身の成長の為に地道に努力してまいりたいと思っております。

ちなみにこの春には、地域の活性化を願ってアメリカのニューオーリンズからジャズバンドを招聘し、「ニューオーリンズフェスティバル in 八千代」と題したチャリティショーを実施します。

婦人部主催の大きな事業で、慣れないために失敗の繰り返しがオロオロするばかりですが、成功するよう毎日かけまわっております。



# 新設婦人部紹介

## 丸山町商工会婦人部長

県内でも遅く、ゴルフで言えば、さしづめB、二十五名の部員により、スタート致しました。何もわからず、まるで、霧の中へと歩き出したも同然でしたが、幸いにも、他の団体に活躍している人が、役員の中におりまして、その人の発言で、なによりも部員の親睦が、いちばん大事で部員の「和」をベースに活動につなげて行くことになりました。

懇親会、そして日帰り旅行と回を重ねてゆくうちに、部員のムードもあがり、向えたのが、町の最大イベント産業祭でした。

今までは、青年部の手伝い程度でしたが、初めて婦人部のコーナーを設け、部員で作った雑巾、そして持ち寄った不用品を販売し成果を上げる事が出来ました。

部員皆様の心の中に、やっとと言う満足感が湧いたと思います。これからも部員の心一つにして、町のイベントに添って行きたいと思えます。

## 三芳村商工会婦人部長

三芳村商工会婦人部は、昨年六月に発足したばかりの若い商工会婦人部です。

三芳村は鉄道・海・国道もない人口四千七百人程の静かな農村です。そんな中での婦人部も部員わずか十一名の小さな団体です。部長という名を持つ私は、婦人部がどんな活動するものなのか、わからないまま月日が経過、県商工会連合会の方から「ふれあい募金に出資してほしい」と依頼があり、一部員五〇〇円の部費以外活動資金のないままのスタートでしたから、早速部員に相談し、手始めに十月に村主催の体育祭に模擬店の出店を計画しました。始めての活動ではあったが、和気あいあいの中でまあまあ収益を上げる事ができました。十二月には食と緑の博覧会見学一月には、さわぎんぴつくに青年部と共催で出店するなどよちよち歩きではあるけれど一歩一歩地道に活動しているればと思っています。

## 飯岡町では婦人部が中心となり

### 「義援金活動を展開」

飯岡町商工会では、婦人部が中心となり、昨年12月に県内で発生し、戦後最大の被害規模となった竜巻災害に対して、特に被害の集中した茂原市へ、市民の方々が一刻も早く平常生活が営まれるよう婦人部の奉仕活動の一環として

義援金活動を展開し、多額の寄付金を送った。この心暖まる活動は各方面から注目され、今後の商工会婦人部活動に対して関係機関等から、あらためて大きな期待をいだかせる大変価値のある活動となった。

## 君津ブロック 老人福祉施設を訪問

去る平成2年10月25日(休) 君津ブロック商工会婦人部連絡協議会では、平成2年度の協議会事業として、君津市内4ヶ所の老人ホームを訪問した。

「参加者の感想」  
4ヶ所の老人ホームに共通して思われることは、有料であろうとなかろうと人間は淋しいものであり、老人は、より一層淋しいものだということをつくづく感じた。



「老人ホームにて説明を受ける参加者」

## 部員増強に一層の取り組みを

近年、商工会婦人部員が減少の傾向にあり、部員の減少が大きな問題となりつつあります。

今後、このような状況が続いた場合、婦人部活動のみならず商工会活動全体に大きな影響を及ぼすものと予想され、婦人部組織の拡充と強化が強く望まれております。

商工会婦人部は、商工業振興等を目的に様々な事業を展開している商工会を側面から支えるという重要な役割があり、その活動に対して関係機関等から大きな期待が寄せられております。部員の減少というこの大きな問題に前向きに取り組みしましょう。

- 「部員増強運動実施方法」
- (1) 部員増強委員会等の専門委員会を婦人部内に設置する。
  - (2) 「商工会」「青年部」「婦人部」が三者一体となり相互の協力を図るために協議会等を設置する。
  - (3) 全国連・県連で発行するパンフレットを管内に配布する他、広報紙等を通じて商工会婦人部のPRに努める。
  - (4) 有資格者リストを作成する。